

平成 29 年 第 3 回 定 例 会 一 般 質 問 通 告 事 項

<p>9 月 8 日 午 前</p>	<p>前 田 孝 人 議 員 (尾道未来クラブ) 質問方式:一括質問方式</p> <p>1 医師不足や患者数の減少で、危機的状況に直面し尾道市の財政を圧迫している市民病院について</p> <p>(1)青山元病院事業管理者を罷免した平谷市長の経営判断の誤りこそが、その後の市民病院の経営が抜け出すことの出来ない「負のスパイラル」に陥ってしまった大きな原因だと思うがどうか</p> <p>(2)金太郎飴のような全国一律の病院改革プラン 国から言われて取り組む病院改革で市民病院の経営が再生できると思っているのか</p> <p>(3)医師確保と言いつけてきたにもかかわらず確保が出来ない 公営企業の経営者としてまず行うことは、現在の医師数で赤字を出さない経営を行うべきだがどうか</p> <p>(4)市民病院の経営は非常に厳しい状況にあり、大鉈を振るい身を切る抜本的改革が必要である 生き残りのためには市民病院とみつぎ総合病院を経営統合するべきだがどうか</p> <p>(5)親方日の丸体質を変え健全経営を目指すには、早急に地方独立行政法人(非公務員型)へ移行し、完全に独立採算での経営を図るべきだがどうか</p> <p>2 「坂のまち」尾道のランドマーク大宝山(通称千光寺山)について</p> <p>(1)千光寺山南斜面市街地の「車の道」整備について</p> <p>ア 急傾斜で狭い道また高齢化等により地域崩壊が起きようとしている千光寺山南斜面市街地 市街地の約7割が斜面市街地の長崎市の取り組みを参考に「車の道」を整備してはどうか</p> <p>(2)「屋上屋を架す」展望台 千光寺公園頂上一帯のリニューアル事業について</p> <p>ア 数億円もかける千光寺公園頂上一帯のリニューアル事業が始まっているが、千光寺山全体のランドデザインが出来てはいない 全体構想が先にあるリノベーション事業であるべきだがどうか</p> <p>イ イメージ図を見ると非常に斬新に見えるものの、こんな人工的なものが必要なのか、日本遺産の町尾道に馴染むのか危惧するものである 先人たちが守り受け継いできた自然や景観を壊すことになると思うがどうか</p>
--	--

3 清掃事業について

- (1) 合併後の尾道市のごみ収集 いまだに後生大事に直営で行っている地域が旧尾道市内であります これを民間委託している他地区のように早急に民間業者に委託をするべきだがどうか
- (2) 尾道市では、清掃作業従事職員が清掃車を運転したとき等に特殊勤務手当を支給している 清掃車の運転をすることがなぜ特殊勤務なのか 清掃業務の現業職であればそれが本来の業務・仕事であり、尾道市はこのようなお手盛りの特殊勤務手当は即刻廃止するべきだがどうか

4 新開地区の賑いづくりについて

- (1) 昨年度から費用をかけて進めている新開地区の賑いづくり 馴染みのない料理「ピンチョス」が本当に新開の賑いづくり、新開活性化の救世主になれるのか
- (2) 新開へ人を呼び込むとしているが、その対象を誰に絞っているのか解らない 尾道在住の若者や女性、あるいは国内の観光客、また外国人観光客なのかそれも欧米なのかアジアからか明確ではない なお昼間の活性化なのか、夜の賑いなのかも解らない それによっては対策が全く異なってくると思うがどうか

5 便数を大幅削減の百島住民の足 常石～尾道航路について

- (1) 離島である百島と尾道を結ぶ唯一の公共交通機関であり、島民の足として生活に欠かせない常石～尾道航路 市長は便数の大幅削減というこの航路再編をなぜ了承し推し進めようとしているのか そうではなく市長の責務として守るべきではないのか
- (2) フェリー百風のお披露目式にて「百島航路は離島である百島と本土を結ぶ唯一の公共交通機関として重要な役割を担っています……。」とあいさつをしておられます。それが今回の便数の大幅削減であります。市長は百島の住民にどのように説明をするのか
- (3) 航走波の関係により緩慢運行を余儀なくされている百風 新造時の構造に欠陥があるのではないか